

## 開校当時の様子① お別れ式と新たな出発(上)



<写真>昭和11年9月1日 長い間一緒に学んだ「園田第一尋常小学校」の先生や友達とのお別れ式の様子です。両校の全校児童が向かい合います。今日から、「園田第三尋常小学校」の新しい敷地、新しい校舎に移ります。

園田村の村長さんは、弱冠39才の第一小学校首席教諭 金井賢次先生を抜擢して、第三小学校 校長に登用しました。開校当時の職員は下記の通り。金井校長は、姫路師範付属小学校訓導として培った教育理念に基づき、

校長	金井 賢次	39才
教頭	多井 奈良夫	34才
訓導	篠部 美津恵	30才
	松本 一郎	28才
	桑田 巧	27才
	空崎 千秋	23才
代用	羽田 進	20才
	上村 かずえ	25才
使丁	山口 安太郎 夫妻	
校医	福島 徳雄	
	菅野 末盛	
看護	高須 賀	

1. 人間尊重教育
2. 自立性を育てる教育
3. 勤労精神を培う教育
4. 心身の鍛錬教育
5. 情操教育

に尽力しました。

校訓は、教鑑（通信簿）の1ページ目に書かれています。「親ヲ大事ニセヨ」の前文から始まり、5項目にわたります。儒教の影響が見られるこの校訓は、毎朝全児童が暗唱したそうです。

# 親ヲ大事ニセヨ

親ヘフダ身ノヘジメ、我ガ心ノ故郷、我ガ生命ノ本デアル。コノ本ヲ大事ニスル心コソ親光ノ  
 偉業ヲ顯彰シ以テ國大ナル恩ニ報ヒ奉リ、マコトノ日本人トナル本デアル。何物モ有體  
 イ、吾ケナイト推戴キ大事ニセヨ。實ニ孝道ハ教ヘノ大本デアル。昔人ノ教ヘニ「天地萬物ハ  
 我ガ本心孝徳ノ中ヨリ生シ出ル」トアル。親ヲ大事ニスルコト、日常寸時モ忘レテハナラズ。

一、師ノ教ヲ大事ニセヨ || 教ヘニ隨順シテヨク勉メヨ、力一パイハゲメ。

一、我ガ身ヲ大事ニセヨ || 我ガ身ヘ君ノモノ、親ノモノ、ケガラスルナ、病氣ニナルナ、有  
 體ヲ推戴イテ強イ身体ニナレ。

一、物ヲ大事ニセヨ || スベテ物ハ誠ノ親心ノ現レデアル。吾ケナイト推戴イテ各々リシ  
 ナ十分ソノ所ヲ得シメヨ。

一、友ヲ大事ニセヨ || 互ニヨイ友トナリ、親ヲ大事ニスルコトヲハゲミ合ヘ。

一、時間ヲ大事ニセヨ || 秒ニ鞭打テ、片時モハゲメ、一時ノ中ニモ最高ヲツクセ。